

<Japan Buy-out Deal Conference in 静岡>

企業価値向上シンポジウム

～事業再編、事業承継、事業再生における戦略的視点～

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、静岡にて、「企業価値向上シンポジウム」を開催することになりましたのでご案内させていただきます。企業の競争力強化のための戦略的視点が重要になってきている中で、静岡県の企業の経営者の皆様に有益な情報をお伝えできればと思います。

近年、M&A (mergers & acquisitions) に加え、バイアウトの手法が企業価値向上のための選択肢として認識されつつあります。この十数年の間に、静岡県を含む東海地区や広域関東圏においても、製造業（自動車部品、金型・精密、一般機械、電子部品、電気機器、繊維、製紙、食品、食品加工）、小売・卸売業（食品スーパー、専門商社など）、サービス業（外食チェーン、教育サービス）、運輸・物流、建設・不動産など多様な業種で事例が登場しました。具体的には、未上場オーナー企業の事業承継にバイアウト・ファンドが活用された事例、大企業の事業再編・子会社独立にバイアウトの手法が活用された事例、バイアウト・ファンドのネットワークを活用して海外事業を強化した事例、再生企業がバイアウト・ファンドから資金調達をして抜本的な経営改革を行った事例、などが出てきています。本シンポジウムでは、バイアウトの手法と事例を分かりやすく解説します。

経営改革を行い成長・発展を目指す企業の経営者、アジアを中心とする海外に拠点を有する企業の経営者、後継者問題を抱えるオーナー企業の経営者、業績低迷からの脱却を目指す再生企業の経営者、戦略的 M&A を検討している企業の経営者などにお薦めです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催要領

【日時】

2013 年 12 月 6 日（金）13:20～17:45（12:50 受付開始）

【会場】

静岡商工会議所 静岡事務所会館（静岡市葵区黒金町 20 番地の 8）5 階ホール（JR 静岡駅徒歩 5 分）

【参加費】

1 名 18,000 円（税込）

【主な参加対象】

- 未上場オーナー企業の経営者、上場企業（子会社を含む）の経営者（経営企画担当、財務担当、海外事業担当、社長室など）
- 地域金融機関（地方銀行、信用金庫など）、大手銀行、証券会社 ■弁護士、会計士、税理士などのプロフェッショナル

【お申し込み方法】

申込書での FAX 送信か Web サイト上（<http://www.jbo-research.com/>）で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

Lead sponsors



TMI 総合法律事務所

Co-sponsors



Advantage Partners, LLP

東京海上キャピタル株式会社
TOKIO MARINE CAPITAL CO., LTD.

東海東京証券株式会社

フェニックス・キャピタル株式会社
Phoenix Capital Co., Ltd.

ネクスト・キャピタル・パートナーズ



Riverside



主催：株式会社日本バイアウト研究所

協力：株式会社三菱東京 UFJ 銀行 株式会社中央経済社

URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】jbori@jbo-research.com（担当：杉浦）

プログラム

受付開始 (12:50)

基調講演 (13:20-14:05)

テーマ: M&A・事業再編・事業承継と法的留意点 ～バイアウト・ファンドの活用も含めて～

講演者 TMI 総合法律事務所 弁護士 高原達広氏

マーケット・レビュー (14:05-14:40)

テーマ: 中部地区および広域関東圏のバイアウト案件の動向 ～事業再編、事業承継、事業再生の事例を中心として～
株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

静岡県を含む中部地区および広域関東圏において、オーナー企業の事業承継、事業再編による子会社売却、株主構成の再構築・集約化、再生企業の事業再生、上場企業の資金調達などでバイアウト・ファンドが活用された事例について解説する。製造業（産業財、消費財）に加え、小売・卸売業（食品スーパー、専門商社など）、サービス業（外食チェーン、教育サービス、メディア・コンテンツ、IT サービス）、運輸・物流など多様な業種の具体的な案件の事例を説明する。また、エグジット案件（株式公開、M&A、その他）の動向について説明する。

休憩 (14:40-14:50)

事例紹介① (14:50-15:20)

テーマ: 企業経営者からみたバイアウト・ファンドの活用法 ～後悔しないための秘訣～

東京海上キャピタル株式会社 取締役社長 深沢英昭氏

<概要>

近年、オーナー企業の事業承継、事業再編による子会社売却などでバイアウト・ファンドをスポンサーに活用する事例が増えている。過去 14 件の投資実績を有する日本の中堅バイアウト・ファンドの老舗として、①事業承継を検討中のオーナー経営者、②自社・自事業部門の独立を検討しているあるいは検討を余儀なくされている経営幹部の視線に立ち、後悔しない事業スポンサー選定の留意点を、事例を交えながら説明する。具体的には、ミキハウス（オーナー企業）、武州製薬（塩野義製薬の前子会社）、MS & Consulting（ベンチャーから次のステージに発展する独立系企業）の事例を取り上げる。

事例紹介②インタビュー・セッション (15:20-15:55)

テーマ: 日本の先端企業を世界に！ポスト・ベンチャー再成長投資 ～ファイベストの事例～

インテグラル株式会社 パートナー 辺見芳弘氏

ファイベスト株式会社 代表取締役社長 高田敏弘氏

聞き手: 株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

日本には、卓越した競争力を保有しているものの、持続的成長のチャレンジに直面する企業が数多く存在する。バイアウト・ファンドの役割の一つとして、競争力のある企業に対し、次の発展ステージへの移行の支援を行う再成長支援がある。本セッションでは、データ通信の大容量化トレンドの中で革新的変革を遂げる光部品業界で世界トップクラスの技術力を持つファイベスト社への支援の歩みを紹介し、企業の再成長フェーズにおけるファンドが果たすべき役割につき解説する。

コーヒープレイク (15:55-16:15)

パネルディスカッション (16:15-17:40)

テーマ: 日本の中堅・中小企業の新ステージへの飛躍に向けて ～バイアウト・ファンドを活用した企業価値向上戦略～

討論者 アドバンテッジパートナーズ LLP プリンシパル 市川雄介氏

キャス・キャピタル株式会社 パートナー 永見隆幸氏

シティック・キャピタル・パートナーズ・ジャパン・リミテッド エグゼクティブ・ディレクター 小林進太郎氏

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 プリンシパル 山田純平氏

司会者 アーンストアンドヤング・トランザクション・アドバイザリー・サービス株式会社

マネージングディレクター EY Japan プライベート エクイティ リーダー 関根俊氏

<概要>

中堅・中小企業では、後継者問題、経営人材不足、マーケティング・チャネルの拡大、グローバル化への対応、財務体質の強化などの経営課題を抱えているケースが多いが、M&A やバイアウトはこれらの課題を解決する有力な手段となる。本セッションでは、多様な業種の案件に関与しているプロフェッショナルに登壇頂いて、どのような経営課題を抱えている企業がバイアウトの対象になることが多いのかについてご紹介頂く。また、M&A (mergers & acquisitions) と比較したバイアウトの手法の優位性、バイアウト後の経営支援のあり方、エグジットを検討する際の考え方などについて、製造業、小売業、サービス業など多彩な事例を題材に討論を行う。

クロージングスピーチ (17:40-17:45)

* 本プログラムの内容は予告なく変更される場合がありますので予めご了承願います。